



木曜塾

山形県 寒河江市立陵東中学校

基本データ

所在地	寒河江市大字西根 430番地
児童生徒数	386人
教職員数	27人
蔵書数	約12,500冊
年間貸出冊数	約3,000冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】居場所としての機能充実

【活動のねらい】

- 生徒自身の自己判断のもと、有効に時間を活用することを推奨する。次年度からコミュニティ・スクールを設置するにあたり、地域にも学校図書館を開放することを念頭に置いている。

取組・活動の概要

- 2019年度から全校生を対象に、平日に2日設けられている部活動休養日のうち、1日を「自主活動日」として位置づけ、放課後に学校図書館を開放している。
- 毎週木曜日の放課後、年間を通じて「木曜塾」として放課後に学校図書館を開放し、学習や読書を行う目的のある生徒が主体的に利用できるように環境を整えている。
- 生徒のニーズに応じて、定期テスト前を中心に教職員も学習の支援を行っている。



「木曜塾」の様子

取組・活動の工夫や特徴

- 平日の部活動休養日を週に2日設定し、うち1日を「自主活動日」として位置付けることについて、学校新聞や総会で情報を提供し、保護者の理解を得たうえで実施している。
- 生徒の利用にあたっては、積極的に呼びかけをしたりするのではなく、気軽に足を運ぶことができるような場として設定している。

- 学校図書館で主体的に学習する生徒の支援等に地域の人材を活用し、教職員にとっての負担を増やさないような体制で運営している。
- 定期テスト前の時期を中心に、教職員も学習指導の支援等に自主的に携わっている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 「木曜塾」開始後は、40人程度の利用があった。
- その後、利用者の減少もあったが、定期テスト前の時期等は自主学習の場として利用する生徒が多く、20～30人程度の利用がある。
- 利用している生徒へのインタビューでは、以下のような反応があった。

テストが近いときに利用しているが、友達や先生からわからないところを教えてもらえる時間なので、とてもありがたい。

帰宅するとだらだらしてしまうので、家よりも集中して勉強することができる。本を読むことができる貴重な時間でもある。

地域の図書館とは違って自由に話すことができる空間なので、周囲に気を遣わないで友達と教え合いができる。自然な話し声がある方が、かえって落ち着く。